福島県男女共生センター事業実施状況

（平成２７年４月１日から平成２８年３月３１日）

開館１５周年となる福島県男女共生センターでは、本県の男女共同参画をめざす拠点施設として広く県民に利用されるよう機能の充実に努めるとともに、男女共同参画に関する様々な情報を発信する情報事業、男女の自立と社会参加を促進するための自立促進事業、自主的な交流を支援する交流関連事業などを実施した。

１　管理運営事業

男女共同参画社会実現のための実践的活動拠点として、センターの３つの機能（情報機能、自立促進機能、交流機能）を十分発揮できるよう、効果的・効率的な施設の管理・運営に努めたほか、原子力災害により避難された方に対し、避難により困難になっている地域コミュニティ活動の維持や地域生活における絆を深める活動を支援するため、宿泊料助成を実施するなど、東日本大震災の被災地・被災者の支援に取り組んだ。

また、多くの人々に親しまれ、利用しやすい施設を目指して、絵本コーナーなど親子で利用できるスペースを設けているほか、研修室や宿泊室等施設設備の一部改修等の環境整備を行い、利用促進に努めた。

※平成２７年度 施設利用状況　別紙のとおり

２　情報関連事業

男女共同参画についての情報、専門図書、資料などを収集・提供し、男女が新しいパートナーシップを確立するための自己啓発及び活動等を支援した。

また、情報ネットワークの充実を図るとともに、県外男女共同参画施設の協力を得て、県外の避難者へも広報紙が閲覧できるようにしたほか、広く情報を発信した。

(1)　情報事業

ア　図書室運営

図書室において、男女共同参画社会形成の促進に寄与する図書や資料等約４万点を備え、閲覧及び貸出により利用に供した。

内　容	・購入図書・資料の選定 　平成２７年度購入図書　３６４冊 ・図書・資料の収集、分類、整理 　図書貸出利用者数　　　延べ　１，８０６人 　図書貸出冊数　　　　　延べ　４，４１０冊 ・レファレンスサービス　延べ　１，３０７件

イ　情報提供

センターの活動内容をはじめとする男女共同参画に関する情報を、ホームページ及びメールマガジン(月１回発行)により提供した。

内　容	・図書室内情報コーナーインターネット利用者数　延べ　５５６人 ・センターホームページアクセス件数　延べ　１９３，６６０件

	・センターメールマガジン配信件数（月１回）　８６０件 （２８年３月末現在）

ウ　広報活動

男女共同参画の考え方や、センターの活動内容について、広報誌「未来館 NEWS」を発行し紹介するとともに、県政広報その他各種媒体を活用し、普及啓発・周知を図った。

内　容	広報誌「未来館 NEWS」第５５号～５８号発行　各７，０００部 県内の図書館、公民館、高等学校、市町村担当課、各都道府県担当課、全国の男女共同参画施設及び被災者支援団体などに送付

(2)　調査研究事業

男女共同参画社会の形成を推進するため、現状を把握し、問題解決への道を探るための調査研究内容等について検討した。

地域課題調査・研究事業

県内の男女共同参画を推進するために重要な地域の課題やその解決方法についての調査・研究を公募したが採択研究はなかった。

3　自立促進事業

(1)　普及啓発事業

男女共同参画に関する講座や講演会などを開催し、男女平等に向けた意識変革をしながら、男女が互いに個人として自立し、責任を担う力をつけて共に社会参画できるよう支援した。

事業名	男女共生地域連携意見交換会
対象者	自治体・企業の女性活躍促進担当者、まちづくり NPO、女性団体等
内　容	男女共同参画社会の実現に向け、県民の意識の譲成や地域特有の課題等解決の糸口を探るため、地域住民と館長とが、意見交換やワークショップを行った。 （１）未来館トークサロン in 白河 開催日：平成２７年１０月８日（木） 会　場：白河市人材育成センター 参加者：９名 内　容：「企業や地域における女性の活躍促進に必要なこと」をテーマとし、互いの活動や取組紹介等を話し合った。 共　催：白河市教育委員会 （２）未来館トークサロン in 南会津 開催日：平成２７年１０月２８日（水） 会　場：御蔵入交流館 参加者：８名 内　容：「地域でもっと女性が元気になるために必要なこと」をテーマとし、互いの活動や取組紹介等を話し合った。

	共　催：南会津町教育委員会

事業名	復興・防災と男女共同参画
対象者	行政職員、地域防災グループメンバー等県民
内　容	復興・防災活動に男女共同参画の視点が重要であることから、地域における被災者支援活動や復興・防災の取組に関わる方たちを対象に、災害・防災と男女共同参画に関する基礎知識習得等の内容の講座を実施した。 （１）平成２７年８月６日（木） 会　場：南相馬市役所東庁舎 講　師：浅野　幸子氏（減災と男女共同参画研修推進センター共同代表） 内　容：実践事例による、復興・防災と男女共同参画に関する基礎知識を学ぶ講義、グループワーク　等 参加者：３５名 （２）平成２７年１１月７日（土） 会　場：福島県男女共生センター　第２研修室 講　師：センター職員 内　容：実践事例による、復興・防災と男女共同参画に関する基礎知識を学ぶ講義、グループワーク等 参加者：６５名 ※「福島県女性消防団員等研修（福島県消防協会主催）」への出講 （３）平成２７年１１月１１日（水） 会　場：会津若松市生涯学習総合センター「會津稽古堂」 講　師：センター職員 内　容：実践事例による、復興・防災と男女共同参画に関する基礎知識を学ぶ講義、グループワーク等 参加者：２５名

事業名	未来館次世代スクールプロジェクト
対象者	県内小学生、中学生、高校生
内　容	県内小・中・高校と連携し、学級担任とセンター職員が一緒になって授業案を練り上げ、互いの性と人権を尊重することの大切さや自分らしさを発揮する大切さを考えるための連携授業を実施した。 ○連携授業 （１）二本松市立小浜中学校 開催日：平成２７年７月５日（日） 参加者：２年生（２６名）、保護者（１７名）、教師（４名） 内　容：性別にとらわれない職業選択～講師との交流学習～

	講　師：女性バス運転士、男性看護師 （２）福島県立安達東高校 ・第１回 開催日：平成２７年６月２５日（木） 参加者：１年生（６８名） 内　容：家庭科～性別にとらわれない職業選択～ 講　師：センター職員 ・第２回 開催日：平成２８年１月２２日（金） 参加者：２年生（６５名）、教員（５名） 内容：デートDV防止について 講師：藤田　直子氏（福島県女性のための相談支援センター主任心理判定員） （３）三春町立岩江小学校 開催日：平成２７年１１月２７日（金） 参加者：６年生（４５名）、教員（４名） 内容：ジェンダーへの気づきと男女共同参画についての学習 講師：センター職員 ○出前講座 ふれあい合宿すぎのめこども宿（福島市杉妻学習センター） 開催日：平成２７年７月２２日（水） 参加者：合宿参加者（小学５、６年生３２名） 内容：ジェンダーへの気づきと男女共同参画についての学習 講師：センター職員

事業名	ふくしまWLBフォーラム
対象者	県民
内　容	多様な生き方を認め、職場・家庭・地域など様々な場面で豊かな生活を送れるようにするため、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の取れた生き方について考える講演を実施した。 開催日：平成２８年３月８日（火） 会　場：福島県男女共生センター　第３研修室 講　師：島村　奈美氏（特定非営利活動法人マタニティハラスメント対策ネットワークメンバー） 内　容：「マタハラ問題から考える。～企業もワタシもアップするワーク・ライフ・バランスな働き方～」 参加者：１５名

事業名	女性への暴力防止啓発事業

対象者	県民
内　容	モラル・ハラスメントについて詳しく知る機会を設け、女性がその被害者になることを防止し安心して支援を求め、DV によって損なわれた自信を回復できるよう、DV 防止を図る講演会を実施した。 　開催日：平成２７年１１月１３日（金） 　会　場：福島県男女共生センター　第５研修室 　講　師：熊谷　早智子氏（ポータルサイト「モラル・ハラスメント被害者同盟」管理運営者） 　内　容：「見えない DV の正体を知る！モラハラから大切な人を守り、その自信を回復するために。」 　参加者：２５名

事業名	未来館シネマ・アート発信事業　※自主
対象者	県民
内　容	県民に広く訴えるために効果的な視聴覚的手法である映画の上映を通じて「男女共同参画とは何か」を考える場を県民に提供するため、福島こどものみらい映画祭の共催団体及び実行委員として企画・運営等を実施した。 「第７回福島こどものみらい映画祭」 　開催日：平成２７年１０月１８日（日） 　参加者：約６００名 　会　場：福島県文化センター　小ホール

事業名	ふくしま女性活躍知事フォーラム
対象者	県民
内　容	女性活躍推進を図るため、「未来へチャレンジ！女（ひと）も男（ひと）もいきいきと」をテーマに、知事と県内で活躍する男女６名が女性活躍の取組状況などについて話し合う座談会を実施した。 　開催日：平成２７年１０月２１日（水） 　参加者：約１７０名 　出演者： 　　　内堀　雅雄（福島県知事） 　　コーディネーター 　　　千葉　悦子（福島県男女共生センター館長） 　　パネリスト（五十音順） 　　　北村　清士氏（株式会社東邦銀行　取締役頭取） 　　　菅野　瑞穂氏（きぼうのたねカンパニー株式会社　代表取締役） 　　　鈴木　二三子氏（福島県女性団体連絡協議会　会長）

	林　克重氏（タカラ印刷株式会社　代表取締役） 横田　智史氏（特定非営利活動法人 OYAKODO ふくしま　代表理事） 吉田　恵美子氏（特定非営利活動法人ザ・ピープル　理事長）

事業名	パネル展　※自主
対象者	県民
内　容	（１）男女共同参画週間パネル展「女性の活躍」 男女共同参画週間（６／２３～６／２９）に併せて、福島県がまとめた「男女共同参画・女性の活躍促進に関する意識調査」の結果の一部をわかりやすくまとめてパネルを作成、展示した。 ・開催日：平成２７年６月１９日（金）～６月３０日（火） （２）女性と防災展～震災と原発事故から５年を経て～ 震災と原発事故から５年の節目を迎え、第３回国連防災世界会議開催から一年が経過することに合わせて、当センターの取組と第３回国連防災世界会議の成果等を展示した。 ・開催日：平成２８年3月９日（水）～４月１２日（火）

(2)　研修事業

男女共にその人権を尊重しつつ責任を分かち合い、個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会に向け、家庭や仕事、地域活動などの生活のあらゆる場面においてその実現を阻害する固定的性別役割分担意識を解消するための事業や、男女のライフスタイルや社会情勢の変化に伴い多様化する課題・ニーズに合わせ個人が自発的に課題解決を図ることができるようにエンパワーメントする事業を開催した。

事業名	未来館エンパワーメント塾
対象者	県民（主に女性)、自治体職員、防災・復興に関する活動をしている団体等の職員
内　容	震災と原発事故によって得られた教訓を今後の災害のリスク削減と福島のよりよい復興に活かし、防災・減災・復興の場における男女共同参画視点の浸透とともに地域や組織で活躍できる女性の人材育成を図るためのセミナーを開催した。 ○第１日 開催日：平成２７年１１月２６日(木) 参加者：１７名 内容： ①「いざというとき、上手に伝えるのに役立つ！初めての自己主張トレーニング」

	講師：丹羽　麻子氏（NPO 法人日本フェミニストカウンセリング学会認定フェミニストカウンセラー） ②「ふくしまの教訓を生かして次に備える避難所運営シミュレーション」 講師：北村　育美氏（福島大学ふくしま未来学推進室地域コーディネーター） ○第２日 開催日：平成２７年１２月１０日（木） 参加者：１４名 共　催：復興庁 内容： ③「男女共同参画の視点で復興を」 講師：石原　浩樹氏（復興庁男女共同参画班主査） ④「多様な視点を復興・防災に盛り込む方法」 講師：高橋　聖子氏（(株) ソフィア研究所シニアコンサルタント、ジェンダーアクション・プラットフォーム理事）

事業名	男性のための男女共同参画基礎講座
対象者	県民（主に男性）
内　容	男性が主体的に育児に関わるきっかけづくりと、男女共同参画社会への理解を深めるために開催した。 講　演「オレ流孫育て入門～孫の心をつかむ“イクジイ”になろう～」 講　師：本多　勉　氏（福島県レクリエーション協会会長） 開催日：平成２８年２月１３日（土） 受講者：１４名

事業名	女性のチャレンジ応援講座
対象者	県内在住の自分の趣味（小物づくり等）で起業を考えている女性、仮設住宅等で小物づくり活動をしている女性
内　容	起業したい女性や仮設住宅等で手作り品をつくる活動をしている女性を対象に、起業への心構えや方法、魅力ある商品作り等について学ぶ講座を開催し、女性の経済的自立を支援した。 講座名：「女性のための“プチ”起業セミナー～ミシンを使った手作り品～」 ○第１日「ミシンを使って手作り作品をつくろう！」 開催日：平成２８年２月２４日（水） 会　場：福島県男女共生センター　第３研修室 参加者：１２名

	内　容：ミシンを使っての縫製技術の習得 講　師：ジャノメミシン福島支店 ソーイングアドバイザー ○第２日「起業のいろはを学ぶ“プチ”起業セミナー」 開催日：３月４日（金） 会　場：福島県男女共生センター　第２研修室 参加者：２６名 内　容：起業までの心構え、準備等の講話　など 講　師：有限会社結城経営システム研究所 代表取締役 結城 幸次氏（福島駅西口インキュベートルームインキュベーションマネージャー、中小企業診断士）

事業名	教師のための次世代育成人権セミナー
対象者	県内の教職員 教育事務所並びに市町村教育委員会・男女共同参画推進部局の関係者
内　容	教職員等を対象とし、人権や男女共同参画の正しい認識を深めるとともに、児童生徒への指導実践に資する講座を開催した。 開催日：平成２７年８月１９日（水） 参加者：１３名 内　容： ○講義１「男女共同参画推進の必要性」 講師：伊藤　恵美氏（県生活環境部男女共生課主任主査） ○講話２「学校における指導のポイント」 講師：持地　晶子氏（県教育庁高校教育課指導主事） ○講義３「福島県男女共生センター事業紹介と図書室案内」 講師：センター職員 ○講話「公開授業実施から見えた、伝えたいこと」 講師：穴澤　由貴子氏（県立耶麻農業高等学校教諭） ○事例発表、協議(特別活動、教科部会) 講師・事例発表者 【特活】佐々木　初江氏（県教育庁義務教育課指導主事） 田中　知氏（平田村立蓬田小学校教諭） 【教科】持地　晶子氏（県教育庁高校教育課指導主事） 橋本　さと子氏（県立いわき総合高等学校教諭） ※福島県教育委員会との共催事業として開催

事業名	未来館健康講座
対象者	県民
内　容	震災及び原発事故の影響によるストレスや不安を抱えながら生活している女性が、自分の身体と向き合い、大切にすることができるよ

	う講演会を実施した。 開催日： 平成２７年１１月２１日（土） 受講者： １９名 講　師：片方　直人 氏（公益財団法人星総合病院　外科統括部長） 内　容：「乳がんを知る。検診に行く。」

事業名	未来館ボランティアセミナー
対象者	県民
内　容	（1）ボランティアセミナー 自主的なボランティア活動を推進し、今後の活動の強化（下地づくり）を目的としたスキルアップのための研修を開催した。特に、保育ボランティア活動に資する内容とした。 〇保育ボランティア養成講座 開催日：平成２７年１１月２１日（土） 参加者：１７名 講　師：丹治　美晶氏（日本赤十字社福島県支部幼児安全法指導員） （2）ボランティアのつどい ボランティアのより良い活動を考える場として、意見交換を行った。 開催日：平成２７年６月６日（土） 参加者：１６名

事業名	研修講師派遣事業
対象者	県民
内　容	市町村や市民団体等が実施する男女共同参画社会実現に向けた研修、学習会等にセンター職員を派遣し、地域における取組を支援した。 職員派遣回数：１９回（延べ参加者数６２５名）

事業名	市町村男女共同参画担当者研修
対象者	県民
内　容	（1）市町村等男女共同参画初任者研修 開催日：平成２７年６月４日（木） 参加者：２４名（１８市町村） 内　容 〇基調講義「男女共同参画はなぜ必要か」 講師：千葉　悦子（男女共生センター館長） 〇県の取組紹介

	講師：山口　聖一氏（県生活環境部男女共生課 主幹兼副課長） 〇NPO 法人 OYAKODO ふくしま活動紹介 発表者：横田 智史氏（NPO 法人 OYAKODO ふくしま 代表理事） 〇男女共同参画の視点からの復興 発表者：丹羽 麻子氏（復興庁男女共同参画班　政策調査官） 〇福島県男女共生センター紹介（事業・施設案内） 担当：センター職員 〇意見交換（グループトーク） （２）市町村等男女共同参画担当者会議 開催日：平成２８年２月９日（火） 参加者：２５名（２４市町村） 内　容： 〇県からのお知らせ 担当：阿部 祐介氏（県生活環境部男女共生課 主事） ・国の第４次男女共同参画計画説明 ・市町村男女共同参画プラン策定状況 ・２７年度事業報告、２８年度事業計画 等 〇関係機関からの報告・連絡等 ①女性活躍推進法の概要 担当：山村 千華氏（福島労働局雇用均等室 室長補佐） ②復興庁の取組 担当：丹羽　麻子氏（復興庁男女共同参画班政策調査官） 〇講義：「かくれた課題が見えてくる　新しい事業の見直し方」 講師：高橋 聖子氏（株式会社ソフィア研究所シニア・コンサルタント、ジェンダーアクション・プラットフォーム理事） ※（１）、（２）とも福島県との共同主催。 ※（２）は、「男女共生を進めるための住民力向上事業」と併せて開催した。

事業名	情報技術スキルアップ講座（有料）　※自主
対象者	県民
内　容	県民が、高度情報化社会で自立した個人として社会に参画していく一助となるよう、スムーズなコンピュータ操作や基本的な情報収集・情報活用方法を身につける講座を実施した。 （１）じっくり入門 ・第１回（１２日間） 開講日：平成２７年６月２日（火）～２６日（金）の火・木・金曜日 受講者：６名

	・第２回（１２日間） 開講日：平成２７年9月２９日（火）～１０月２９日（木）の 火・木・金曜日 受講者：６名 （２）ワード基礎講座 ・第１回（５日間） 開講日：平成２７年7月９日（木）～１７日（金）の 火・木・金曜日 受講者：９名 ・第２回（５日間） 開講日：平成２７年１１月１２日（木）～２０日（金）の 火・木・金曜日 受講者：１２名 （３）エクセル基礎 ・第１回（５日間） 開講日：平成２７年８月１８日（火）～２７日（木）の 火・木・金曜日 受講者：８名 ・第２回（５日間） 開講日：平成２７年１２月１日（火）～１０日（木）の 火・木・金曜日 受講者：９名

事業名	コミュニケーション・スキルアップ講座（有料）　※自主
対象者	県民
内　容	男女共同参画社会を実現するために、自分らしさを大切にしながら他の人とのより良い関係を築くためのコミュ二ケーション能力の向上に資する講座を実施した。 〇コーチング講座 講　師：前田　文氏（アズ・コミュニケーション代表） （１）基礎編 ・第１回 開催日：平成２７年６月６日（土）、７日（日） 受講者：１７名 ・第２回 開催日：平成２７年８月２９日（土）、３０日（日） 受講者：１７名 （２）ステップアップ編（平成２２年度以降のコーチング講座受講者を対象）

	開催日：平成２７年１０月２４日（土）、２５日（日） 受講者：１４名 （３）アサーティブトレーニング編（平成２２年度以降のコーチング講座受講者を対象） 開催日：平成２７年１１月２８日（土）、２９日（日） 受講者：１３名

事業名	企業研修　※自主
対象者	県内の企業
内　容	企業における男女共同参画の推進のために、企業が男女共同参画に関わる研修を開催する際の職員の派遣や、センターの利用促進に向け、プロジェクトチームを立ち上げた。また、企業研修実施の際の、男女共同参画に関する内容の研修プログラムを作成した。 ○企業研修 （１）対象：昭和電工東長原事業所社員（全２回） ①開催日：平成２７年６月３０日（火） 受講者：３６名 内　容：「ワーク・ライフ・ハーモニーとは」 ②開催日：平成２７年７月３日（金） 受講者：１５名 内　容：「ワーク・ライフ・ハーモニーとは」 （２）対象：日本政策金融公庫福島支店職員 開催日：平成２７年9月１７日（木） 受講者：１３名 内容：「ワーク・ライフ・バランスとは」 （３）対象：東北電力労働組合福島県本部組合員 開催日：平成２８年1月２２日（金） 受講者：２６名 内容：「ワーク・ライフ・バランスとは（男女共同参画の必要性）」 ※講師は全てセンター職員

事業名	災害とジェンダーに関する人材育成プログラム事業　※自主
対象者	自治体職員、社会福祉協議会職員、NPO・女性団体等
内　容	防災分野におけるジェンダー主流化及び防災活動への女性の参画を促進するため、「検討委員会」を設置して既存のプログラムの検証と新たなプログラムを検討し、その経過を踏まえてトレーニングプログラムを実施した。（※公益財団法人日本女性学習財団・男女共同参画と災害・復興ネットワーク共同事業体からの委託事業）

	○検討委員会 ・第１回：平成２７年1月２９日（水）※２６年度 ・第２回：平成２７年２月１８日（水）※２６年度 ・第３回：平成２７年５月２６日（火） ○トレーニングプログラム 開催日：平成２７年４月２４日（金） 参加者：２７名 タイトル：「あしたから始めの一歩が踏み出せる～女性のための防災入門講座」 内　容： ①「研修ポイント（防災基礎と立場別の被災状況）を整理」 ②「それぞれの被災経験の振り返りと共有」 ③「国連防災世界会議の結果を踏まえた国際的な動向・課題」 ④「非常食を食べながら交流」 ⑤「自分たちの仕事や活動に役立つ教材と具体的な手法の学習」 ⑥「震災・原発事故による福島が抱える課題の整理と解決のための地域資源・方法の確認」 ⑦「振り返り」 講　師：浅野幸子氏、池田恵子氏 （減災と男女共同参画推進センター　共同代表）

(3)　相談事業

男女が自立し、生き生きとして生きがいのある人生を送ることができるよう、日常生活から生じる様々な問題や悩みに関する相談や、配偶者からの暴力(ドメスティックバイオレンス)に関する相談及びこれらに関する情報提供を行った。

事業名	一般相談
対象者	県民
内　容	性別にとらわれず生き生きと生きていくために、広く生活全般に係る相談を行った。 相談内容：広く生活全般に関する相談 配偶者等からの暴力に関する相談 男性相談員による相談 相談方法：電話・面接 相 談 員：男女共生相談員（嘱託職員）２名、男性相談員１名 相談件数：６９４件

事業名	専門相談
対象者	県民　※カウンセリングは女性限定
内　容	法律問題や健康に関することについて、専門家による相談を行っ

	た。 　相談内容：法律相談（月２回、各回２時間）相談件数　３１件 　　　　　　健康相談「女性による女性のためのカウンセリング」 　　　　　　　　　　（月２回、各回一人１時間程度） 　　　　　　　　　　　相談件数　８件 　相談方法：面接（予約制） 　相 談 員：法律相談　弁護士 　　　　　　健康相談（カウンセリング）　女性臨床心理士

事業名	チャレンジ支援相談
対象者	内職や就業（再就職）を希望する女性
内　容	内職希望者からの相談や内職求人受付、あっせんを行うほか、女性の就業援助に関する相談、情報提供を行った。 　相談方法：電話・面接 　相 談 員：女性就業援助相談員（嘱託職員） 　※配置個所　男女共生センター及び県内３ヶ所（郡山、会津若松、いわきの県地方振興局内）に相談コーナーを設置 　相談件数：１，９４５件 　内職あっせん者数：３５０名

(4)　介護実習・普及センター事業

　高齢者介護の実習等を通じて、地域住民への基礎知識、介護技術の普及を図るとともに、「高齢化社会は国民全体で支えるもの」という考え方を地域住民に広く啓発する事業を実施するほか、福祉用具の展示並びに住宅改修を含めた相談体制の整備等を行った。

事業名	介護実習・普及事業
対象者	県民、介護専門職員
内　容	介護の実習等を通じて、県民への介護知識、介護技術の普及を図るため、社会福祉法人福島県社会福祉協議会に業務を委託して各種講座等を実施した。 （１）県民介護講座の実施 　初級介護講座、介護セミナー、認知症介護セミナー、介護ワンポイント講座、オーダーメイド介護講座、介護実技基本講座、認知症キャラバン・メイト養成研修、認知症サポーターキャラバン市町村担当者研修、小・中学生向け認知症サポーター養成講座 　実施講座数：５０回、５０日 　参加者数：１，５４８名 （２）地域介護専門職員研修の実施（介護専門職員を対象） 　企画力アップ研修、相談援助面接研修、福祉用具研修、住宅改

	修研修、排泄ケア研修　等 　実施講座数：１４回、２８日 　参加者数：３６３名 （３）介護セミナー（介護の日記念フォーラム２０１５） 　開催日：平成２７年１２月１３日（日） 　参加者数：７８名 　内容： 　　①講演「笑いで健康づくり～笑うからだに福来たる？！～」 　　　講師：広崎　真弓氏（福島県立医科大学医学部疫学講座　助教） 　　②「介護」に関する県民参加企画 　　　運営協力：（一社）福島県介護福祉士会 　　　ア：「心と体をリフレッシュ！癒やしのフットケア体験」 　　　イ：「介護よろず相談コーナー」 　　　ウ：「ほっとカフェ・人形展」 （４）福島県介護研修事業検討委員会の開催 　第１回：平成２７年１２月１７日（木） 　第２回：平成２８年3月１７日（木）

事業名	福祉用具・住宅改修普及支援事業
対象者	県民
内　容	（１）福祉機器展示室の運営 　福祉機器展示室において、各種用具を展示するとともに、福祉機器企画相談員（嘱託職員２名）を配置し、一般県民からの福祉用具・住宅改修に関する相談を受け、助言指導を行った。 　来所者数：４，０６８名 　相談件数：８８６件（相談内容件数９５０件） 　相談内容：移動機器（２３１件）、パーソナルケア関連（１４８件） （２）福祉用具・住宅改修普及支援協議会の開催 　福祉用具・住宅改修の普及事業の円滑な実施を図るため、理学療法士、作業療法士、建築士、福祉用具取扱業者、行政関係者からなる協議会を開催し、優良な機器の選考・展示方法及び住宅改修相談等について検討を行った。 　第１回：平成２７年１２月１７日（木） 　第２回：平成２８年3月１７日（木）

4　交流関連事業

(1)　交流関連事業

県民が、主体的に男女共同参画についての問題に取り組む実践的活動拠点としての機能を発揮するため、自主的な交流の場として男女共生センターを提供するとともに、男女の平等と自立を目指す個人や様々な団体・グループ間の相互交流を促進するための事業を実施した。

事業名	未来館ネットワーク推進プログラム
対象者	県民
内　容	男女共同参画社会の意識啓発を図るとともに、県民相互の交流を促進するため、未来館ネットワーク推進プログラム（未来館フェスティバル）を開催した。また、センター開館15周年にあたり、これまでの取組の成果を広く県民と共有し、女性団体等による震災後の被災者支援や復興のための取組を発信する場とした。 開催日：平成２７年９月５日（土）・６日（日） 参加者：延べ２，９６７名 内　容 （１）シンボルイベント（５日） 内　容：講演「真の“女性活躍社会”をつくるための処方箋」 講　師：上野　千鶴子氏（社会学者、東京大学名誉教授、NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク理事長） 参加者：３７０名 （２）未来館ネットワークカフェ（５日） 内　容：県内の団体、自治体職員等による情報交換、交流 参加者：５２名 （３）県民参加企画（５日） 内　容：県民が自主的に企画・運営を行った、被災・避難女性たちによる復興に向けた活動紹介、パネルディスカッション、ワークショップ、パネル展示等 出展数：２２企画 （４）認知症介護セミナー（６日） ※福島県社会福祉協議会主催

事業名	男女共生を進めるための住民力向上事業
対象者	市町村担当者、男女共同参画社会推進のために活動している団体・個人
内　容	男女共同参画社会の推進のために地域で活動している、あるいはしようとしている団体等を育成・支援するため、事業企画等に役立つ講座を実施した。 開催日：平成２８年２月９日(火) 参加者：３３名 内　容：

	○講　演「かくれた課題が見えてくる　新しい事業の見直し方」 ○講　師：高橋　聖子氏（株式会社ソフィア研究所シニア・コンサルタント、ジェンダーアクション・プラットフォーム理事） ※市町村担当者会議と併せて実施

事業名	男女共生次世代交流会
対象者	大学生
内　容	大学等高等教育機関と連携し、多様な視点から男女のライフステージや地域課題をテーマとした意見交換会等を実施した。 開催日：平成２７年１０月３１日（土） 会　場：いわき明星大学 参加者：１１名 内　容： ○基調講演「男女共同参画とキャリア形成」 講師：今泉 理絵氏（福島大学　うつくしまふくしま未来支援センター　特任助教） ○事例発表「女性の活躍推進の取組」 発表者：鈴木 岳伯氏（株式会社福島銀行 組織開発部長） ○ワークショップ ５名程度のグループとなり、講義、発表を踏まえ、男女共同参画の視点での、これからの自身の働き方や生き方等について、意見交換を行った。 後援：東日本国際大学、いわき短期大学、福島工業高等専門学校

事業名	男女共同参画実践支援事業 （男女共生を進めるための県民企画応援事業）　※自主
対象者	県内で活動中または活動予定のグループ・団体
内　容	県内の NPO 等のグループが主体となって自主的に企画・実施する講座やワークショップ等を公募して、センターが企画・広報・チラシ作成の協力、会場・設備等の提供、運営協力等の支援を行った。 採択件数：５件 採択企画（団体）： ・「DV に関する啓発・被害者支援研修」（NPO 法人ウィメンズスペースふくしま） ・「久松農園代表 久松達央氏講演会」（安達地方農業青年クラブダッチ） ・「平成 27 年度 海外派遣者帰国報告会」（一般社団法人国際女性教育振興会福島県支部

	・保育士版ワーク・ライフ・バランスセミナー「実践！ワーク・ライフ・バランスで劇的変化を遂げた全員参画型保育園へ ～保育士の働き方改革で笑顔の保育園をつくる秘訣とは～」（NPO法人 OYAKODO ふくしま） ・第５回「かーちゃんの力・プロジェクト」シンポジウム（かーちゃんの力・プロジェクト協議会）